
アクマで君がスキだから
R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止
Indigo no nashi
2022.9.4


朔夜！
御影朔夜
18歳
大人しくて地味な
男子高校生
はよっす
おはよう
雄司
今日やけに
早いじゃん
今日の予習
しようと思って
そんな
僕には
大きな
秘密がある
あ…っ
ぐらぁ…
朔夜…!!


あぶね
わ
大丈夫か？
ドク
ドク
ご、め…
大丈…ぶ…
じゃねえだろ！
ふら〜〜っ
ガ
ガ
ドン
遅れっから
これで行くぞ
ったく…


ちょっ…
まって雄…
司…
…っ！
ハッ!!
ふわっ


あ…雄司の匂い…
ドクン…
ドクン…
いい匂い…
ドクン…
ドクン…


さく…っ
ぎゅっ…
雄司しか知らない
僕の秘密


——お前さ…
もうちょい
何とかなんねえ？
ソレ
はぁ…
はぁ…
あと一歩遅かったら
皆にそのカッコ
見られるとこだったぞ
ご、ごめん…
はぁ…


この見た目通り
僕は人間じゃない
吸血鬼
悪魔
妖怪
時代とか場所によって
呼び名は色々あるけど
淫魔
それが最もしっくりくる
名称だと思う
そして
そんな僕が欲するのは…
…っ
ごめんね雄司
カチャ
カチャ…
少しだけ
我慢して


ボロン
ああ…くらくらする
はぁ…♥
雄司の匂いが一番濃いところ
はぁ…
じゅるっ…
…っ
じゅぷっ
男の淫魔が求めるのは
女性の精気
ちゅ
でも僕が
欲するのは
雄司の精気
じゅぶぶぶぶ…
ヤバ…
久しぶりだから
ガッついちゃう


音…響いちゃうのに
ちゅっ
おいしくて
止められない…っ
ぢゅるっ
ぢゅるるっ
雄司の精気
気持ちいいといっぱい
出て来る
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
もっと欲しい
さ…く…っ
ふーっ♡
もっと
ふーっ♡
もっと濃いのが
うっ…！
欲しい…！


は…
く…っ


ぐぅるるるる
ん…っ
ドプッドプッ♥


ちゅぽっ


悪い
朔夜
大丈夫か
ん…平気


あ…どうしよ
ドクン
久しぶりだったから
なんか…
ドクン
ドクン
ドクン

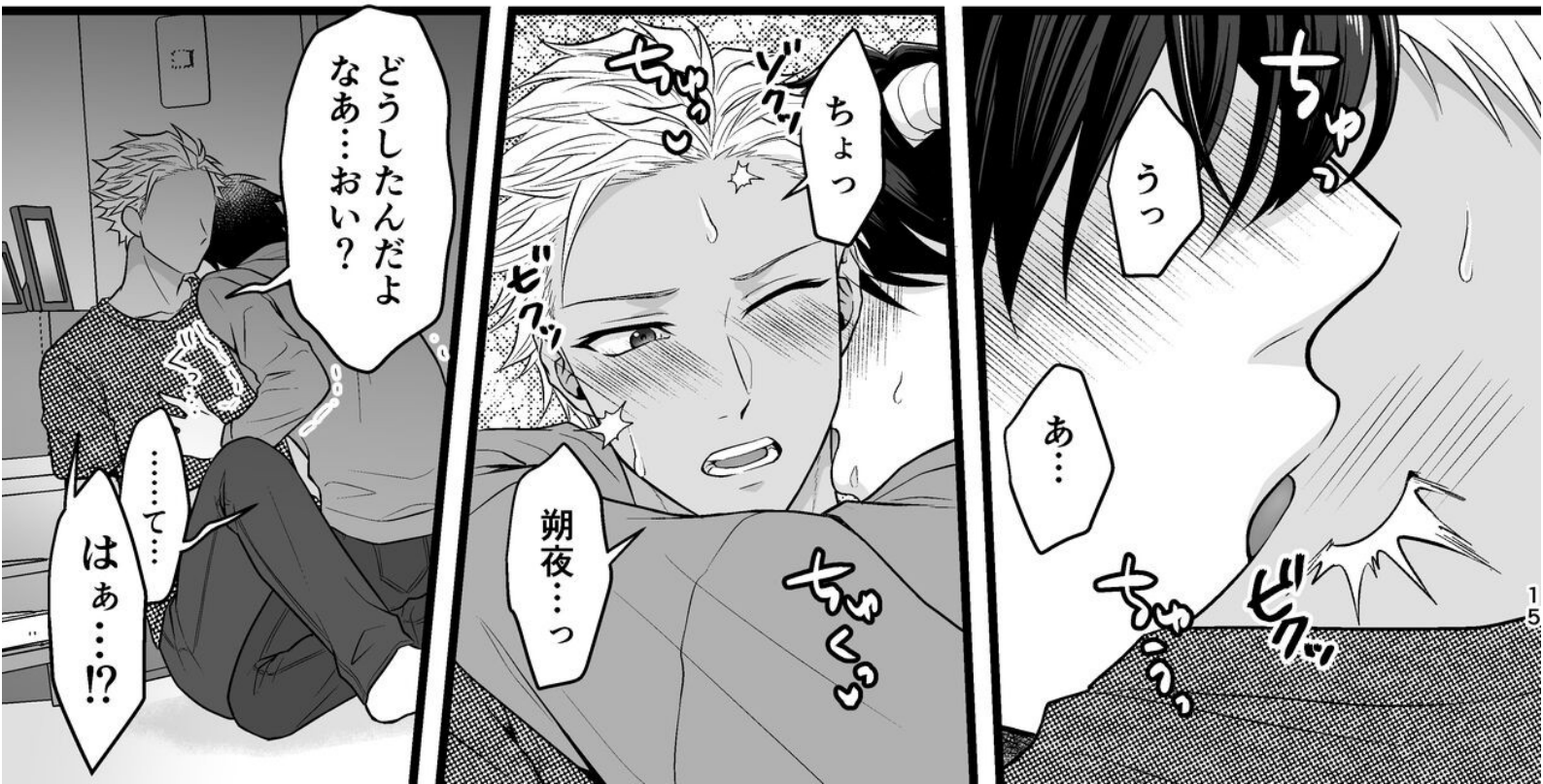

カーン
コーン
ヤベ
そろそろ
行かねーと
…先行ってて
この姿(コレ)
戻ったら
行くから
…そうか
カチャ…
んじゃ後でな
そして
……
トクン…
雄司も知らない
もう一つの
秘密
ぷるっ…♥
トクン…
トクン…
トクン…


はっ…
はぁっ…
にゅくっ♥
にゅくっ♥
にゅくっ♥
僕は
雄司が好き
ゆ…じ…
はぁ…
はぁ…っ
ゆう…じ…っ
精気だけじゃなくて
雄司の全てが
欲しい
あっ
ズクズクズクッ


でも
それは叶わない
ドクッ
ビュクッ
ビュクッ
ビュクッ
はっ…
はぁっ…
叶えちゃいけない——
——さく…や…？
はっ…!


その角…
！
な、なんで
えっ…
うそ
見ないで
雄司
や
あ
ドクン
どうして
ドクン
大丈夫かよ
病院とか
ドクン
ドクン
雄司に反応して…
汗すごいぞ
ドクン
理性が――…
ドクン
救急車…
ダメ
ヤバい
ドクン
離れて
ドクン
もう
ドクン

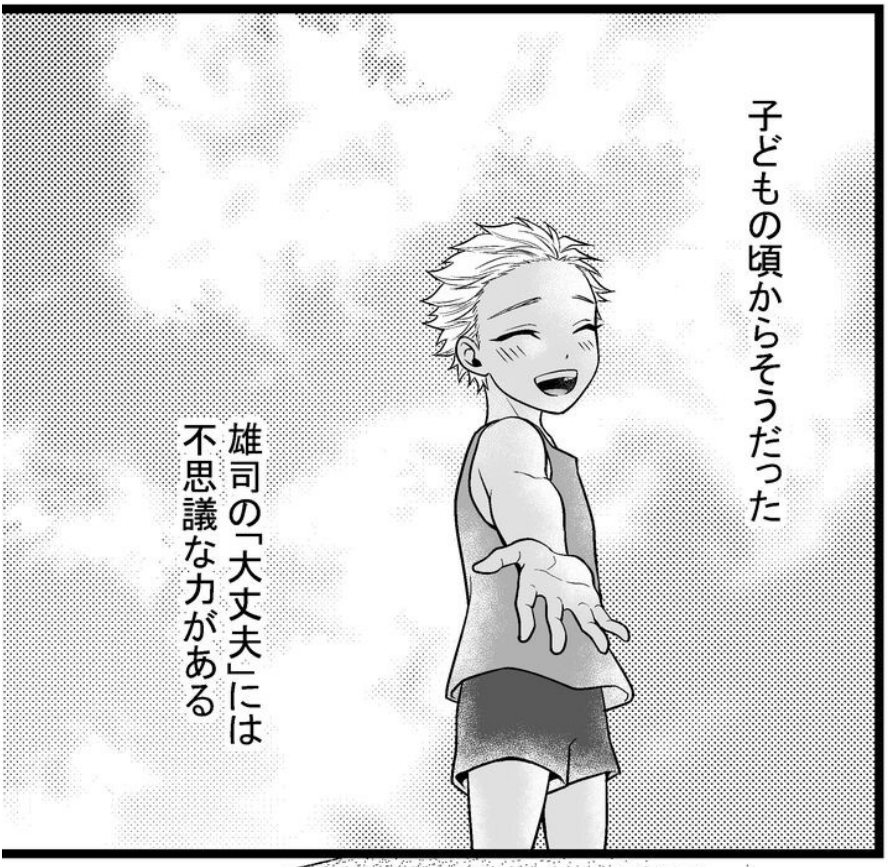

え…
ドッ
ドッ
さ、さく…!?
ドッ
ドッ


ちゅっ
うっ
あ…
ちゅっ
ビクッ
ちょっ
ゾクッ
ちゅ♡
ビクッ
朔夜…っ
ちゅくっ
どうしたんだよ
なあ…おい?
くっ
……て…
はぁ…!?


逃げて…
僕から離れて
じゃないと
きゅっ
僕…っ
こんな状態の
お前置いて
どっか行くとか
あり得ねえだろ
コレが何なのか
分かんねえけど
できる事なら
何でも手伝うから


僕の事…
怖くならないの
何年付き合い
あると思ってんだよ
今更怖くなんか
なる訳ねえだろ
僕は…怖い
雄司に危害を
及ぼすかも
しれない
それに…
お前にやられる程
弱っちくねーよ
腕相撲どころか
指相撲だって
コツ
一度も負けた事
ねえだろが
真面目に
言ってるんだ
だって僕は…っ
大丈夫だから
力になりてえんだ
ならせてくれよ
な
大丈夫だ
朔夜
何の根拠もない「大丈夫」が


ストンと胸に落ちてきた


子どもの頃からそうだった
雄司の「大丈夫」には
不思議な力がある


僕の特別な人


他の誰の精気もいらない


雄司のだけでいい


そう言えたらどんなに…
お
朔夜
ギク
遅かったな
大丈夫か？
う、うん…


なんかまだ
顔色悪いな
そ、そう…？


今日 ウチ
親いねーんだ
だから――…
雄司～ッ！


あの…さ…


おっ御影もいんじゃん
なあなあ 今日カラオケ
行こうぜ
2組の女子も
来てくれるってよ！
マジでアガるわ～～～
いやあの僕は…
は？
えっ？
よっしゃ
決定！
んじゃ俺は
放課後に備えて
髪セットしてくるから！
また後でな～！
スチャッ!!
……
俺の方で
断っとくか？
…たまには
顔出すよ
いえ～～～～っ!!
ニャッ
ニャッ
ニャッ
ニャッ


流石ノリだけで生きる男
笹山振り完コピなのウケんだけどw
ウェ～イありがとっ
褒めてないからw
次曲入れた？
あ、あたし入れた～っ
……
ずうううううん
……っ
ヤバい…
思ってた以上にキツイかも…
てか
ずうううううん…
何で男女交互に座るの…!?


御影くん
曲入れた？
一緒に何か歌う？
あっあの…
だ、だい、大丈夫
僕歌うより
聞く方が好きだし…っ
ズサァッ
ドンッ
ゆっ
ごっ…ごめ…
ビクッ
んー
大丈夫大丈夫
やっぱり女性の精気…苦手だ…
この甘ったるい匂いを嗅いでると気分が悪くなってしまう
少しでも慣れなきゃって思うんだけど
年齢が上がるほどに体が受け付けなくなっていく――
キャハハッ
生島すご～っ！


筋肉ヤバない？
私より胸デカいwww
※生島雄司くん
オイ触りすぎだっつの
あははごめ～んw
ウチのも触っていいよ♡
いらねーよっ
こういうのにも…慣れなくちゃ
いつかは雄司だって…
…っ


ごめん、僕…用事思い出したから帰るね
えーっマジ？
ほんとゴメンお金ここ置くね
おう…んじゃまたな
じゃあ俺も…
雄司


雄司まで帰っちゃダメでしょ
せっかくなんだから楽しんで
ニコッ
じゃあまた明日ね

結局逃げちゃった

ああいうの受け入れるのはまだ無理だ…

いつかは雄司の精気も貰えなくなる

そんな未来から目を逸らしてちゃダメなのに…

朔夜！

雄司…!?

俺も帰る

ぶっちゃけ全然楽しくねえし

…そっか

つーかさっきの何だよ

さっき…？いたり…

「せっかくだから楽しんで」って真っ青な顔でよ

無理してんのバレバレだっつーのナメんなよ

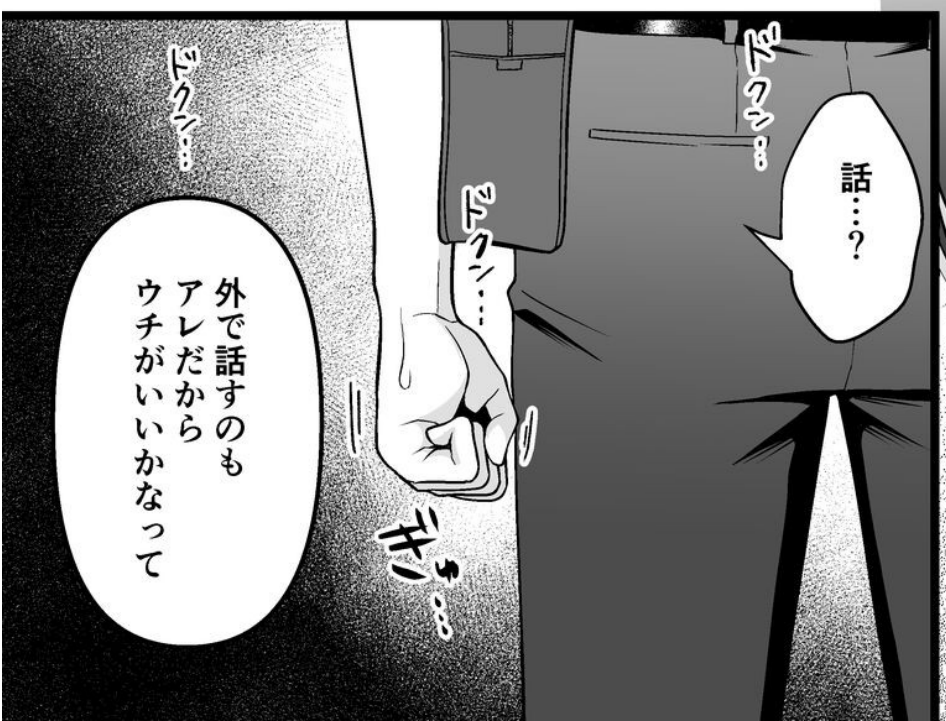
……

ダメだろ、僕…嬉しくなんかなるなよ

あと


cafe & bar
さっき学校で言いかけたままになっちまったけど
今夜ウチに泊まりに来いよ


で、でも近所だから泊まる必要なくない？
色々と話あってさ…


ドクン…
話…？
ドクン…
外で話すのもアレだからウチがいいかなって
ドクン…
ぎゅ…

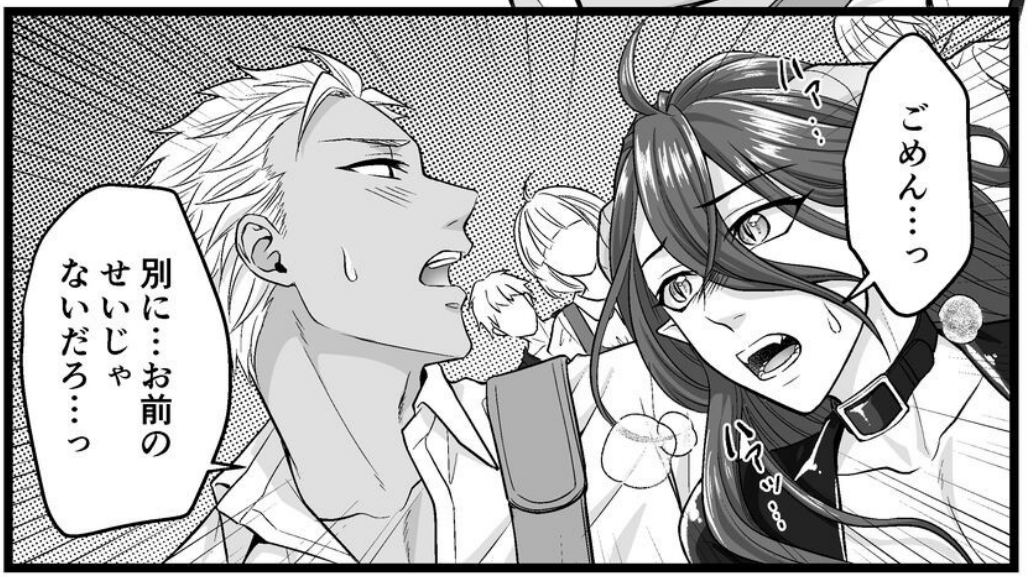

今日 ウチ親いねーんだ…
そういえば…
あ…


ドクン
ドクン
ど…どんな話…？
ドクン
ドクン
嫌な予感がする
例えば雄司が
女の子と付き合いたいから
僕に精気はあげられないって…
その…精気の為に俺に…してくれてるだろ
お前にとって必要だから協力してえんだけど
そういうの…なんかちょっと…嫌っつーか…
分かってる
あ…そ、そう…だよね
ごめん
は？
悪い事してるって事も
普通に考えてあんな事されるの嫌だよね
いやそういう意味じゃ…
雄司は本意じゃないって事も

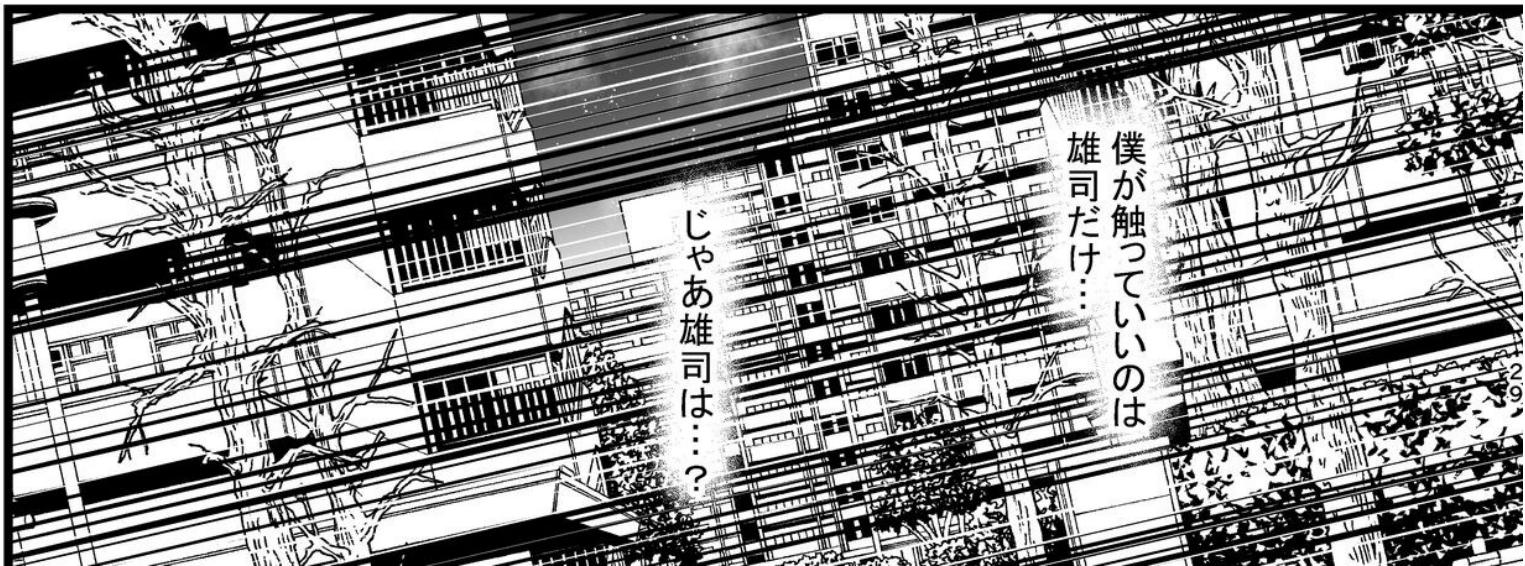

いつか終わりが！
さく…っ
!?
ズァアアアア…
来ることも――
お前
その格好…!?
こ、来ないで…
何言って…
ハァ？
フラ…
あ…
27

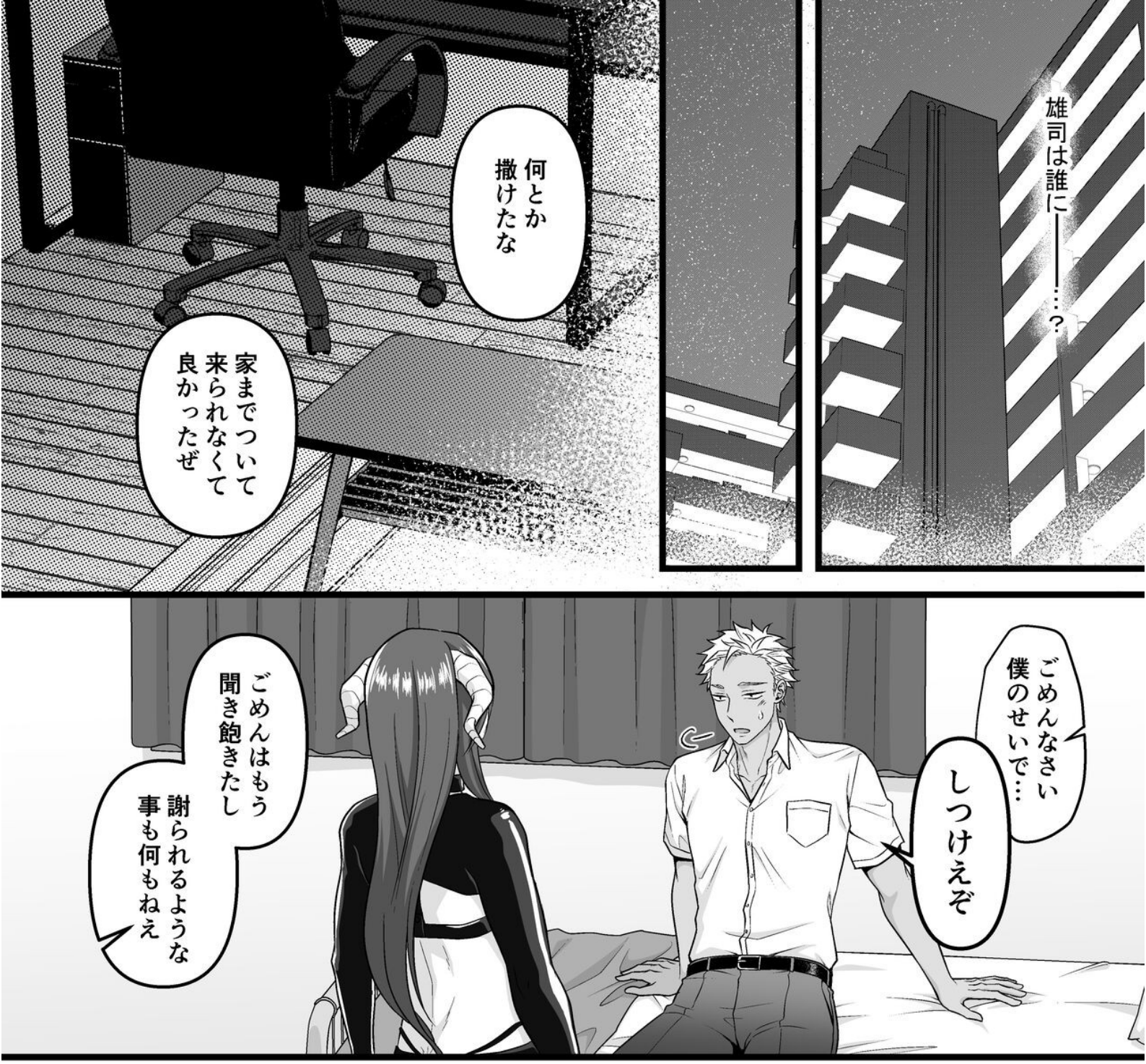

朔夜!!
なに これ…
僕が惹きつけてるのか…!?
苦しい…!
次々押し寄せてきて
う…っ
てめえら どけ!
淫魔の誘惑(テンプテーション)する力が制御できない…!
みんな正気を失ってる
咽かえる程の精気


コイツが触っていいのは
俺だけなんだよ！
雄…司…？
逃げるぞ走れ

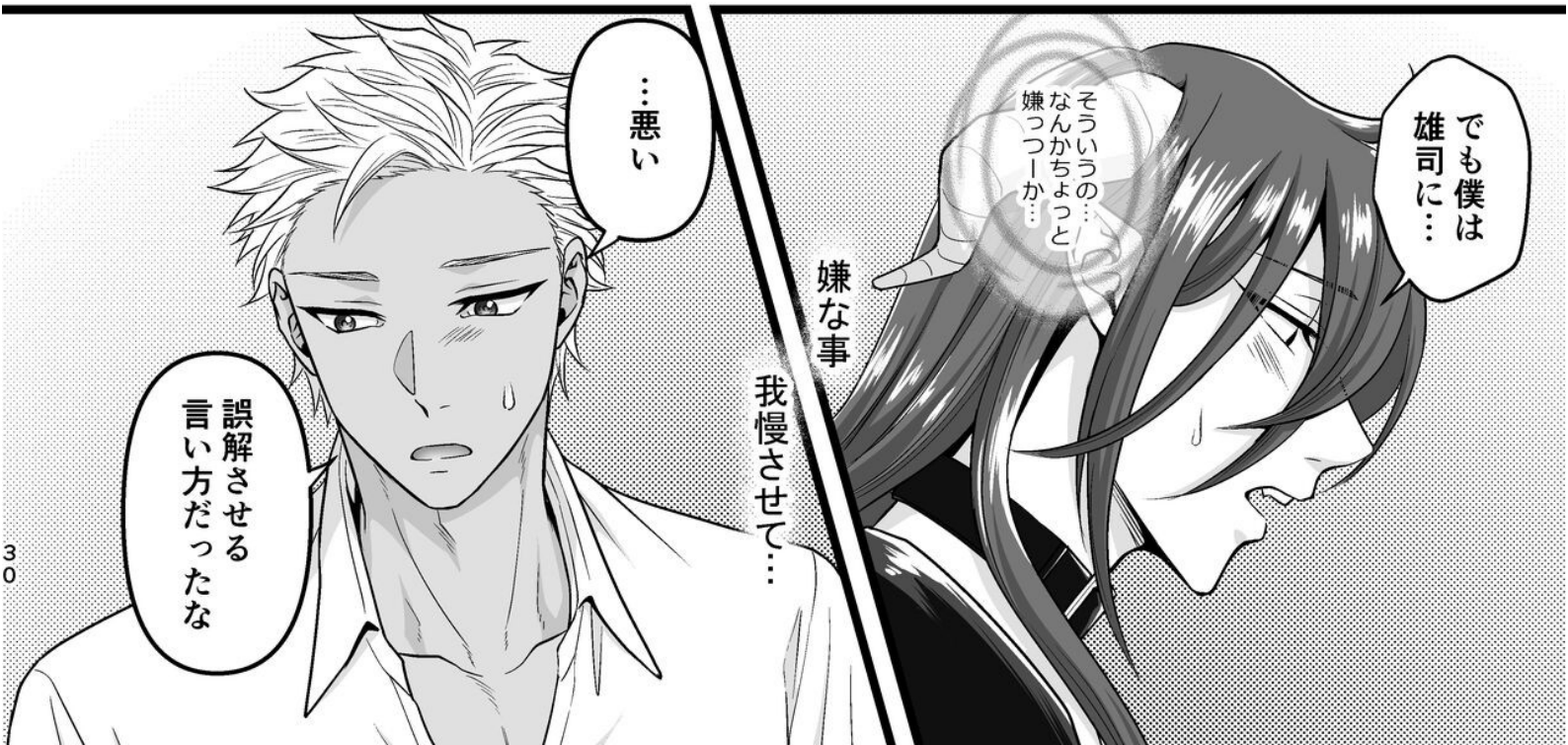

ごめん…っ
別に…お前のせいじゃないだろ…っ


だああっ
鬱陶しいな！
バタバタバタッ


僕が触っていいのは雄司だけ…
じゃあ雄司は…？


雄司は誰に――…？
何とか撤けたな
家までついて来られなくて良かったぜ

ごめんなさい僕のせいで…
しつけえぞ
ごめんはもう聞き飽きたし謝られるような事も何もねえ


でも僕は雄司に…
そういうの…なんかちょっと嫌っつーか…
嫌な事我慢させて…
…悪い
誤解させる言い方だったな


お前に触られるのが嫌とかじゃなくて
朔夜の事
好きだから
気持ちが見えないまますんのが
嫌だった
お前にとっては食事みたいなもので特別な感情がなくても
俺は…


ガバッ
だから俺も
雄司
今…何て…
朔夜に触りたい
お前が欲しいよ
ト
ヤ…
僕を好き…？
本当に…？


ひゃ…
びくっ
あっ…！
ゆ…じ…っ
ちゅうう
ふぅ
あ…
ビクンッ
ビクンッ
あっ
ダメ…！
嫌？
違う…けど
こわい…っ
…怖い？


だって僕は
人間じゃない
僕が食べるのは
人間の精気
つまり
命
このまま
雄司の側に
いたら
もっと先に
進んだら
僕は雄司の
命を
食いつくして
しまうかも
しれない…！
大丈夫だよ


心配いらねえよ
お前にやられる程
弱くねえって
言っただろ


それに
お前になら
命をやってもいい
雄司…
トクン…
トクン…
朔夜は
どうなんだよ
教えて
お前の気持ち
トクン…
トクン…
トクン…
僕は…
僕も
トクン…


雄司が
好き――
スウ…
戻った
えぁ
本当だ
ま、どんな
格好でも
おんなじ
だけどな
んっ…
ふ…


あ…
はぁ…
はぁ…
んっ…
はぁっ…
ちゅっ
はっ…
ふあ…
ちゅっ
ふっ…
あ
はぁっ…
ちゅうっ
ちゅっ
雄司に触られるの
ちゅっ
ちゅるっ
気持ちいい…
ちゅくっ


ちゅっ
あ…
んあ…っ
ピクンッ
ちゅうっ
ちゅぷっ
体がどんどん熱くなって
変になりそう
はあぁっ…
…？
なに…？
…いつ
突っ込もうかって
思ってたんだけどさ


そのカッコヤバすぎるな
ほとんど隠せてねえし
ギョッ!!
えっ
わあっ
なんだコレ!
もおおっ！何で今そういう事言うんだよ！
好きでこんな格好してるんじゃないんだからね！
悪い悪い俺的にはすげえ好き
ポカポカ
バカ！
まあ
でも
不可抗力とはいえちょっとムカつくけど
他のヤツらに見せちまったのは
ちゅ
…っ
ああっ！
こっから先は俺だけのもんだからな
れろぉ…
ちゅうっ
ビクビクッ
ひあっ…！
雄司が僕に触ってる
ドクン
ドクン
嬉しい…
ドクン


こっちも触っていい？
ちゃっ
こっちって…んあっ！
ちゅぷっ
ちゅくっ
ビクビクッ
勃ってる
スリ…♡
やだ…言わな…
ひあっ♡
ビクンッ♡
ふーはっ
敏感


へえ…下はこういうのだったのか
ゆ…雄司も脱いで…っ
う…裸でいるより恥ずかしいかも…


…何だよ
ジッと見て
「何だよ」じゃないよ
やりかけたまま
放置しないでよ！
脱げって言ったの
お前なんだけど？
いいから
早く…！
カァ
…ッ
んじゃ
お前脱がして
ギ
ミ
えぇっ
ちょっと…っ
なんか僕
遊ばれてる？
カチャッ
カチャッ
バレたか
もうっ！


わっ…
シュルッ
ムワッ…♡
雄司の精気
さっき力が暴走した
せいかな
ドク…
いつもより濃い気がする
ごく…
ドク…
ドク…
僕も


我慢できない…！
スウウ…
ん…
はあっ
ハァー
朔夜…っ
ヤバ…
ハァー…
ハァー…
すっげエロ…

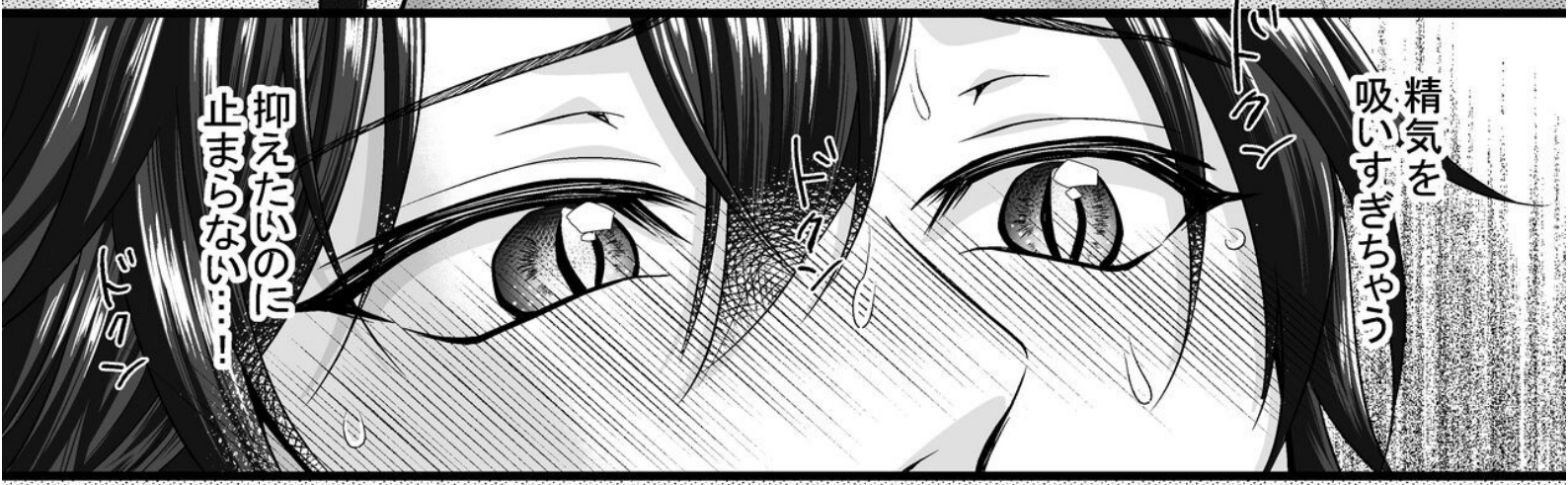

ブルンッ
…っ
ドッ…
ドッ…
ドッ…
ちゅぷっ
ちゅぷっ…
あ…
ぐにぐにっ
ビクッ
う
くっ
ぷっ
ぷっ
プルンッ
朔夜…
ケツこっちに向けて
ハァ
ハァ
ん…こう？
そう…
は…
すげ…

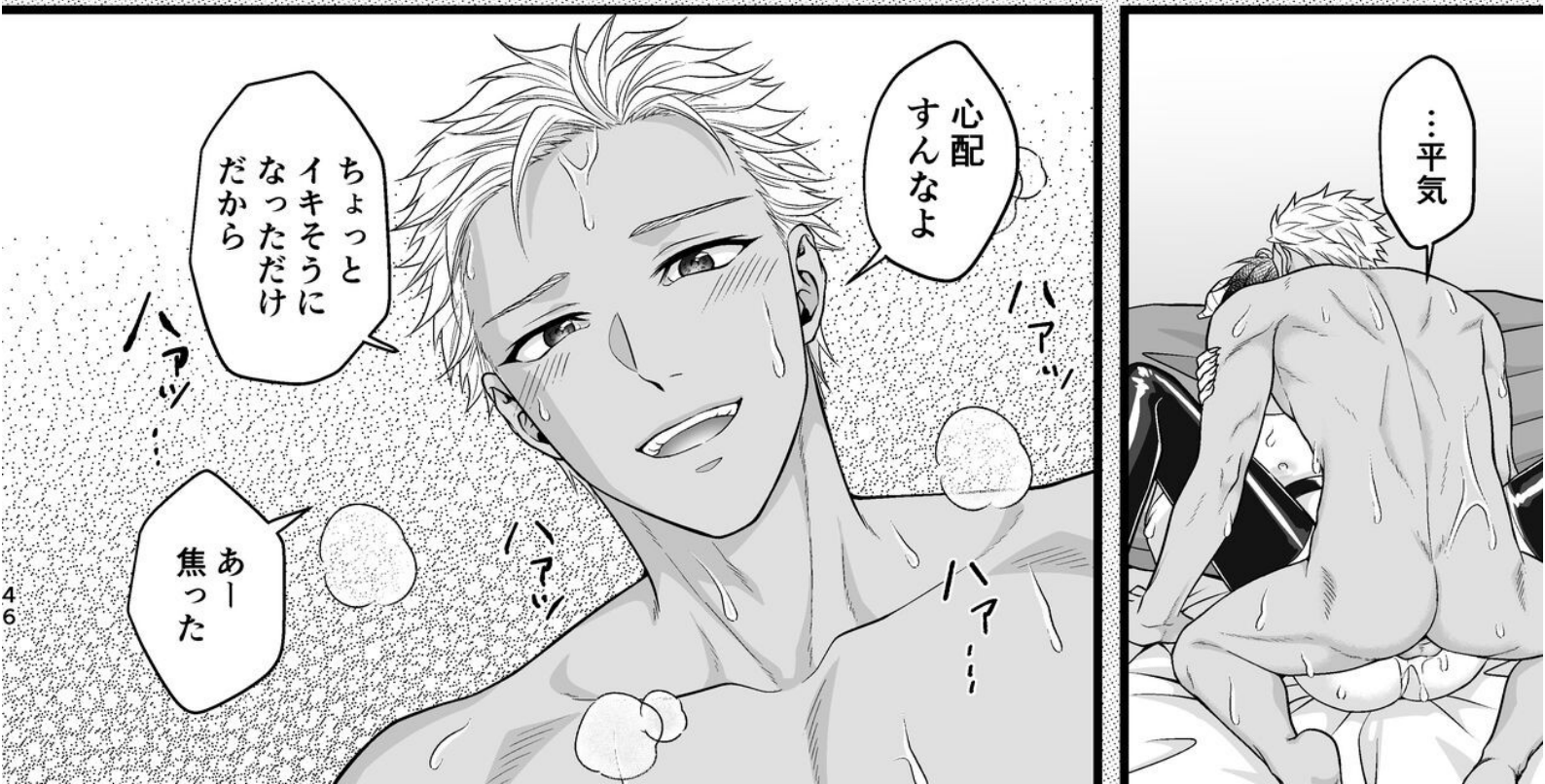

グイッ
ベロッ
ヒクヒクッ
ぬちゅっ
ぬちゅんっ
ぬちっ
あっ…
あぁあっ♡
な…んだこれ
つぷっ…
ビクッ
ひゃあぁっ♡
するっと入った
ずぷっ
ずぷっ♡
え…や…だあ…っ
お前ここ弄ったことあんの？
ぐちゅ
あっ♡
ぬちゅっ
は…
ぬちゅっ♡
あ♡
ないよ…っ
ゆ…じがはじめてっ…
ぐちっ
は…？
ずぷっ♡
淫魔ってみんなこーなのか…？
知らな…
あぁっ♡
ぬちゅっ♡


ダメだ
我慢出来ねえ
ピリッ
挿れるぞ
ドッ…
うん
まだ少し怖い
ドッ…
来て
雄司
ドッ…
ドッ…
ドッ…
ドッ…
でも
僕も雄司が欲しい
あ
あああああっ!!


辛くねえ…？
ん…平気
ハ？
ハ？
お前ん中
ヒクッ
ヒクッ
ギチッ
ギチッ♥
すげえ気持ちいい…
ギュッて締め付けて絡みついて
腰止まんなくなりそ
ぬち♥
ズッ
ズッ
ズッ
しゅっ♥
あっ
あっ…
ズチュッ
ズチュッ
朔夜…
ゆ…じ…
んあっ…
キュウウ…
雄司…っ
あ…
ダメ…
精気吸っちゃう…
止めなきゃ
なのに
キュウウ


くっ…
ボブ…
!!
雄司…!?
やっぱりやめよう
ダメだ
これ以上したら


精気を吸いすぎちゃう
ドクン
ドクン
ドクン
抑えたいのに止まらない…!!


…平気
心配すんなよ
ハァッ
ハァッ
ハァ…
ちょっとイキそうになっただけだから
ハァッ…
あー焦った


ズッ
や…っ
激しっ…
じゅぽっ
大丈夫だって
言ってんだろ
じゅぽおっ
てっ…あっ
ふっ…
やっとこうする
事ができたんだ
ふーっ
ふーっ…
死んでも
やめねえ
…つーか
死なねえけど
ちゅ
…うん


僕の命を雄司にあげる
あっ
はぁ…っ
あぁっ
ズッ
ズッ
ズッ


雄司を信じる
僕が雄司の命を奪うなら
ドチュッ
ドチュッ


側にいて
ドド
ビクビクッ
いつまでもずっと――…


過去も未来も
何もかも全部雄司のもの
朔夜…
俺…もう
ヤバい…
フーッ
フーッ
ぬちゅっ
ぬちゅっ


ん…僕も…っ
だから
ハッ…
ハアッ…


——本当に大丈夫…？
おー
具合悪くなったりしてない？
してねーよ

…そう言えば
どうしてあの時雄司は惑わされなかったの？
ああ…あん時か
いや別にされなかった訳じゃねえよ
ぽわわ
ぐいっ
え…？


淫魔になってようが人間のままだろうがお前にはいつも惑わされっぱなしだから
特に変化無かっただけじゃね
え…っええっ!?
ポ
——で？朔夜は？



アクマで君がスキだから

発行日　2022.9.4

発行者　高梨藍

Twitter　@takanashiai_s

無断転載・複製・複写・Web上への掲載
（SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む）は禁止です。